

■ 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
1単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	3167
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵送物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告方法	当社のホームページ (http://tokaiholdings.co.jp/ir/publicnotices/) に掲載します。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

(免責事項)

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

■ ホームページのご案内



株式会社TOKAIホールディングス

本社 〒420-0034 静岡県静岡市葵区常磐町2丁目6番地の8



TOKAIホールディングス

検索



<http://tokaiholdings.co.jp/>



株主通信

第2期 ● 2012年4月1日から2013年3月31日まで

目次

ご挨拶／株主の皆様へ	1
業績ハイライト	2
TLC 会員サービス／グループ顧客件数	3
セグメント別概況	4
2012年度のトピックス	5-6
2013年度の取り組み	7-8
IP13の推進について	9
株主優待制度・配当について	10
財務諸表の要旨	11-12
会社概要／グループ会社紹介	13
株主の状況	14

TLC — Total Life Concierge —



TOKAIホールディングス

【証券コード：3167】



中期経営計画 (IP13) の財務目標を 1年前倒しで達成しました。

代表取締役社長 (CEO)

田 田 勝 夫

客件数の積み上げや、昨年12月より開始したグループ横断の総合会員サービス「TLC会員サービス」を活用した中止防止施策等により、営業利益・経常利益・当期純利益の全てで前期を上回り、再び増益基調へ乗せてまいります。

また、財務体質の改善も引き続き推進してまいります。有利子負債残高は861億円と800億円台へ、自己資本比率は20.0%へ改善する計画です。

具体的な取り組みとしては、アクア事業の関東市場への本格参入をはじめ、今年3月に台湾SYSCOM社と設立した合弁会社「CloudMaster」を起点とした情報通信事業の国内外への展開や、「TLC会員サービス」の普及拡大及び充実にも注力してまいります。

株主様への利益還元について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題のひとつと位置づけており、剰余金の配当については、経営体質の強化と将来の事業展開を考慮しつつ、株主の皆様への安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。

この方針に基づき、2012年度の期末の配当金は、昨年5月に公表の通り1株あたり6円とさせていただきます(年間12円)。また、2013年度についても、中間6円、期末6円と、年間12円を予定しています。

昨年6月末に新設した年2回の株主優待も好評でしたので、引き続き実施してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

はじめに

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、2012(平成24)年度の株主通信をお届けさせていただくにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2012年度の業績について

2012年度の売上高は、前期の水準を維持しました。

一方、利益面では、当初、中核事業であるLPガス事業とCATV事業で市場環境対応の費用を見込み、営業利益を前期の109億円から39億円減の70億円と予想しましたが、実績は当初予想と比べて減益幅を19億円縮小し、89億円となりました。また、当期純利益は31億円となり、2期連続の増益となりました。

財務面では、有利子負債残高が937億円と前期末と比べ120億円削減でき、1,000億円未満の水準まで改善しました。経営統合前(2010年度末)比では1,240億円から300億円以上の削減ができました。また、資産の圧縮が進んだ一方で、昨年末の自己株式処分によって自己資本が増加し、自己資本比率は18.6%と前期末に比べ4.3%増加しました。経営統合前との比較では7.7%から2.4倍に向上しています。

2013年度の業績予想及び取り組みについて

2013(平成25)年度の売上高は、情報通信事業を中心とした顧客件数の着実な積み上げにより、前期比3.7%増に拡大し、過去最高を更新する見込みです。また、利益面では、アクア事業拡大のための先行費用(11億円)を投じながらも、顧

2012年度決算ハイライト

■ 経営成績	実績		前期比		5月10日公表比	
	金額	変化	金額	変化	金額	変化
売上高	1,817 億円	↓	2 億円	↓	75 億円	↓
営業利益	89 億円	↓	20 億円	↑	19 億円	↑
経常利益	81 億円	↓	18 億円	↑	23 億円	↑
当期純利益	31 億円	↑	4 億円	↑	11 億円	↑

■ 財政状態	実績		前期末比		(参考)2010年度末比	
	金額	変化	金額	変化	金額	変化
有利子負債残高	937 億円	↓	120 億円	↓	304 億円	↓
自己資本比率	18.6 %	↑	4.3 %	↑	10.9 %	↑

(注) 表示単位未満四捨五入

2013年度の見通し

■ 経営成績	予想		前期比	
	金額	変化	金額	変化
売上高	1,884 億円	↑	3.7 %	↑
営業利益	92 億円	↑	2.5 %	↑
経常利益	84 億円	↑	3.8 %	↑
当期純利益	35 億円	↑	14.4 %	↑

■ 財政状態	予想		前期末比	
	金額	変化	金額	変化
有利子負債残高	861 億円	↓	76 億円	↓
自己資本比率	20.0 %	↑	1.4 %	↑

(注) 表示単位未満四捨五入

■ TLC会員サービスを開始

TLC WAONカードの特徴



全国約16万箇所(2013年3月現在)のWAON加盟店で利用可能
(WAONカード累計発行枚数：約3,180万枚)



昨年12月より、グループ横断の「TLC会員サービス」を開始しました。イオングループと提携し、WAON機能搭載の顧客カード「TLCWAONカード」を会員様向けに発行しています。開始からわずか3ヶ月で、11万件のお客様にご加入いただいています。

このサービスは当社独自のポイント制度(TLCポイント)で、TOKAIグループが提供するサービスの毎月のご利用金額に応じて、ポイントが貯まります(基本ポイント)。加えて、複数のサービスをご契約いただ

いるお客様には、さらにサービスの契約数に応じて、毎月固定で付与させていただくボーナスポイントもあります。お客様との結びつきを一層強めることを目的としたサービスです。

なお、このTLCポイントはWAONポイントに交換可能であり、全国約16万箇所(2013年3月現在)でご利用いただけます。

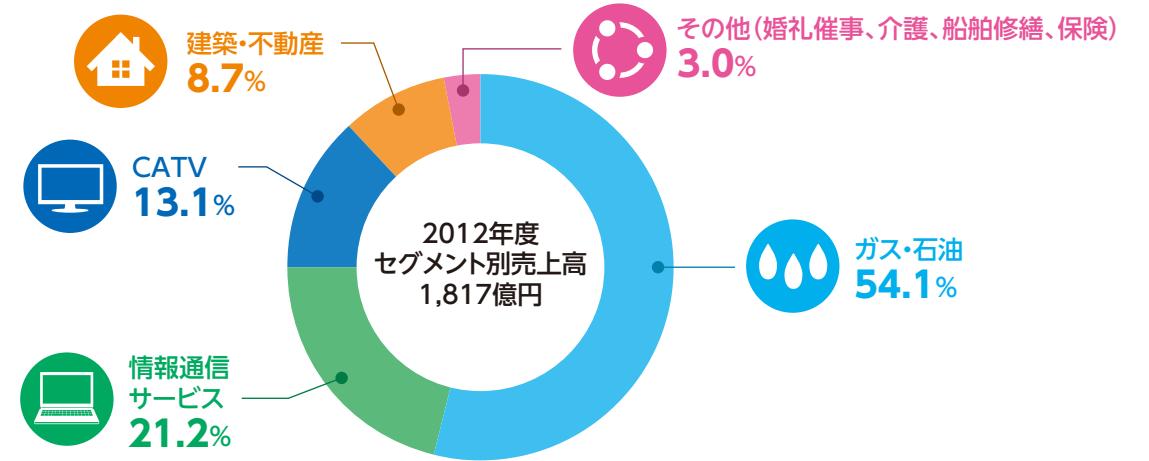
今後もお客様にとって利便性が高く、魅力的な仕組みとしてまいります。

■ グループ顧客件数

顧客件数は、前期末比3万件増の245万件となり、着実に拡大しました。2012年度は熊谷CATVの売却等特殊要因の減少が4万件ありましたが、この特殊要因を除けば、実質7万件の純増と言えます。特に、ブロードバンド事業において、東北エリアへ拡大したこと等により6万件増加となりました。また、アクア事業で10万件、モバイル事業でも20万件を突破しました。

	2011年度	2012年度	前期末比
ガス (LPガス・都市ガス)	648	629	△19
情報通信 (固定・無線)	758	816	+58
情報通信 (モバイル)	193	213	+20
CATV	722	691	△31
アクア	97	102	+5
セキュリティ	20	20	0
合計	2,415	2,445	+30

(注) 千件未満四捨五入



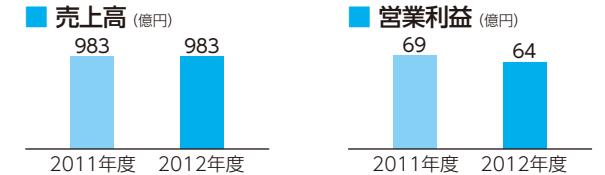
(主要3セグメントの概況)

ガス・石油セグメント



事業概要

LPガス、都市ガス、太陽光発電等の環境エネルギー、飲料水の宅配、セキュリティ



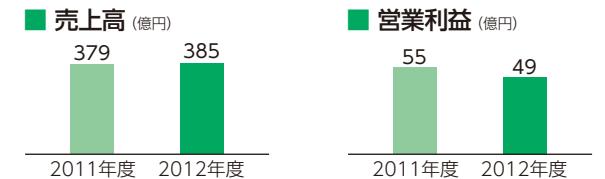
LPガス事業で顧客件数減少の影響を見込んだものの合理化や仕入コストの減少などにより減益幅を縮小

情報通信サービスセグメント



事業概要

固定インターネットADSL・FTTH、無線インターネットLTE、ソフトウェア開発、データセンター、企業向け通信、モバイル



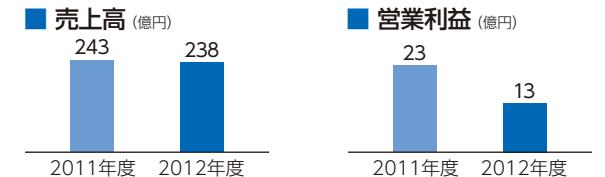
東北エリアへ進出し、順調に業容を拡大した結果、個人向け顧客数が増加し、増収

CATVセグメント



事業概要

CATV放送、CATV/FTTH網によるインターネット



売上高は熊谷CATV売却により減収。営業利益は顧客獲得強化のための一時的な費用により減益

注1. 億円未満四捨五入
注2. 数値は間接費用等配賦前ベース

1

アクア新工場の稼働

アクア（飲料水の宅配）事業は、2007年11月の事業開始以来、富士山の天然水を主な商品ラインナップに、市場成長率を上回るスピードで急拡大を図ってきております。顧客数は、昨年7月に10万件を突破しています。

また、更なる事業の拡大を図るために、今年3月、富士山南陵工業団地（静岡県富士宮市）内に「アクア富士山プラント」を建設しました。主な特長は、①ワンウェイボトルを年間約280万本（約10万件相当）まで供給可能な高い生産能力、②安全衛生面に十分な配慮を施したプラント設計、③地中熱利用換気システムをはじめとする各種省エネ設備の導入、④自然環境に恵まれた立地と富士山を見上げる美しい景観です。2013年度のアクア事業の取り組みについては、P7をご覧ください。



アクア富士山プラント（2013年3月生産開始）

2

総合リフォーム事業参入

これまでLPガス事業で培った顧客基盤やノウハウを最大限活用することを目的として、昨年4月より、住宅事業（住設本部）のリフォーム部門をLPガス事業（ライフソリューション本部）に移管し、リフォーム事業の拡充に向けた取り組みを開始しました。女性プランナーを新たに採用し、女性の目線でニーズを汲み取り、リフォームプランへと反映しています。

また、沢田亜矢子さんをメインパーソナリティに起用したテレビ番組「沢田亜矢子の感動！マイルーム」を静岡県内で毎週放送し、「TOKAI WILL (We will Link Life) リフォーム」のブランドが着実に浸透しました。



「沢田亜矢子の感動！マイルーム」（2012年8月～2013年4月放送）より
（左：沢田亜矢子さん、右：当社プランナー）



3

情報通信での新たな海外展開（台湾）

TOKAIコミュニケーションズは、今年3月に台湾の大手情報サービス会社SYSCOM社と合併で「雲碼股份有限公司 (CloudMaster)」を設立しました。台湾・中国を始めとするアジア市場向けに情報通信サービスを展開してまいります。

具体的な取り組みの1つとして、台湾の官民で開発したクラウドサービスを日本向けに最適化し、全国の連携データセンター事業者（13社）を通じて中堅企業向けに販売していきます。日本向け商品名は「プラクラ（プライベートクラウド）」と言います。詳細は、P8をご覧ください。



2013年2月4日 海外事業戦略発表会（東京會館）にて

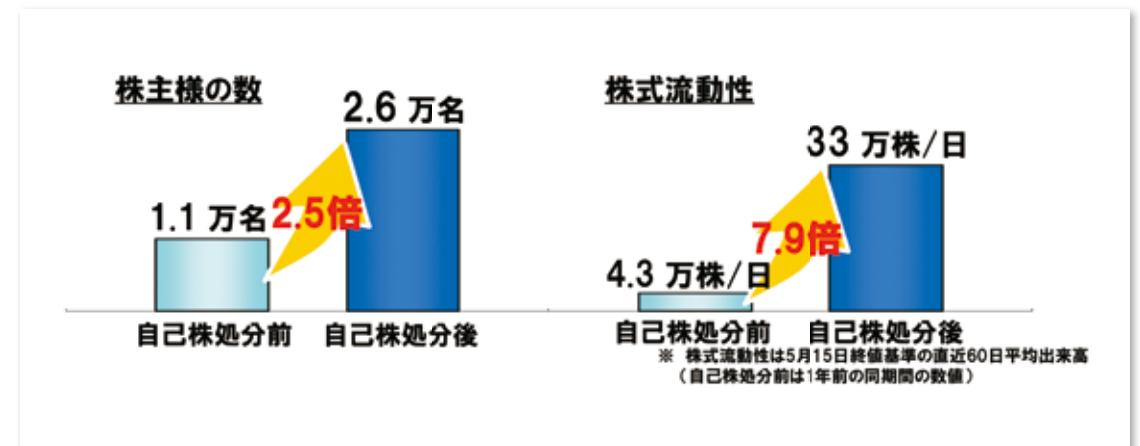
4

財務体質改善の取り組み

2011年4月に経営統合して以降、キャッシュフロー経営の強化、CMSの導入等、資金効率の向上に取り組んできています。

これに加え、昨年12月に、自己株式55百万株のうち1,580万株を処分して37億円の調達を図りました。これにより、株主様の数が、1.1万名から2.6万名へと2.5倍となりました。更には、これに伴う投資家へのマーケティング活動により、当社株式の市場認知度が高まり、株式流動性が7.9倍*と大幅に向上しました。

※2013年5月15日現在



1

アクア事業：関東市場への本格参入

アクアの市場は2013年度までが2桁成長で、以降安定成長に入るものと見られており、この1～2年が重要となります。

このため、更なる成長を図るために、グループがLPガス事業で34年間培った営業力・顧客基盤を活用し、関東市場へ本格的に参入いたします。特に、安心・安全に高い関心を示される子育て主婦層約70万名をメインターゲットとしています。

この関東本格参入により5年後に顧客数を20万件とする目標を掲げ、2013年度は関東市場で2.6万件の加入推進を図ります。具体的な方策としては、大型商業施設・家電量販店チャンネルと、LPガス直販ルート両面からFace to Face営業を展開し、価格面でもワンウェイ方式の天然水としては最安値で販売してまいります。

また、ターゲットにあわせて「うるのん（“潤い”“飲む”）」ブランドを立ち上げるとともに、キャラクターとして国民的に人気の高い「ドラえもん」を起用し、ブランド力の強化に努めています。

この5月からは、「ドラえもん」と「どこでもドア」を演出したテレビCMやキャンペーン施策等を実施しており、「うるのん」の普及拡大を目指してまいります。

おいしい水の贈りもの



(株)TOKAIの宅配水サービスのイメージキャラクター『ドラえもん』



©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK



全国で放送されている「うるのん」のテレビCM

2

情報通信事業：海外および国内展開

情報通信事業は、今年3月に設立した「CloudMaster」を起点に、アジア市場および国内市場に展開してまいります。

(1) アジア市場向け展開

- 台湾の地元医療機関をターゲットとして、病院向けシステムのヘルスケア情報システム (HIS) を拡販します。SYSKOM社の大学病院等への医療情報システムの納入実績は台湾国内随一で、これまで重ねたノウハウを活かして、更なる事業拡大を図ります。
- 台湾、中国を中心に海外展開する日系企業をターゲットとし、TOKAIコミュニケーションズのEDI*1サービス「JFT*2」をクラウド化して拡販します。

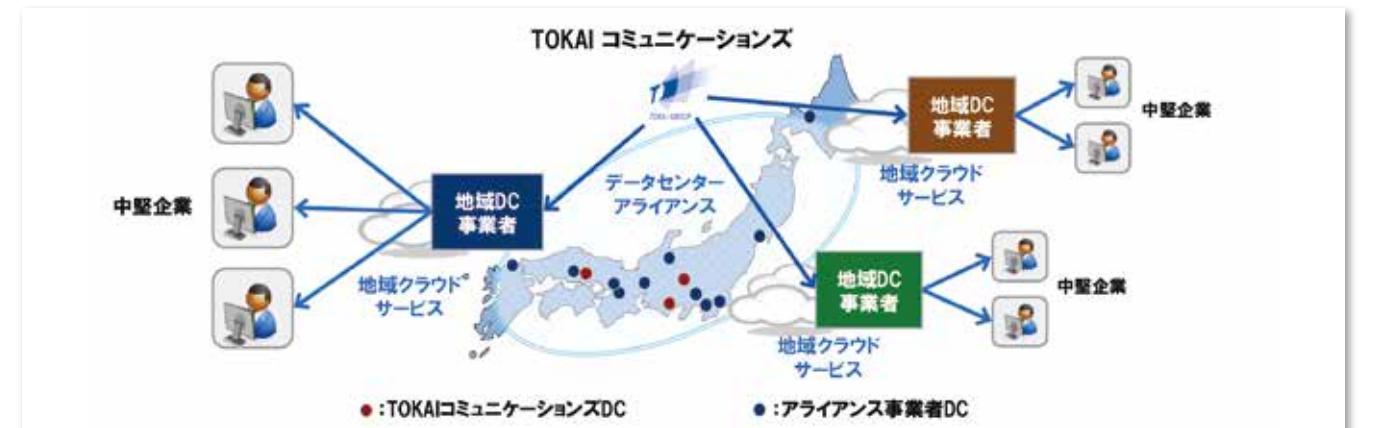
*1 EDI：電子データ交換 (Electronic Data Interchange) は標準化された規約にもとづいて電子化されたビジネス文書 (注文書や請求書等) を専用回線やインターネット等の通信回線を通してやり取りすること。

*2 JFT：(Java File Transfer System) TOKAIコミュニケーションズのEDIデータ交換ミドルウェアシステム。通信機能、通信管理機能、データ管理機能、ユーザーインターフェイス機能を提供している。中国、台湾での商標登録名はATHELAS。

(2) 国内市場向け展開

- TOKAIコミュニケーションズのオフショア開発*3を行い、コスト競争力を向上させます。
- P6でご説明した「プラクラ」をTOKAIコミュニケーションズが総代理店として、国内連携データセンター事業者へ卸売りし、各地域で中堅企業への普及を図ります。「プラクラ」の特徴は、導入コストが安価で、かつセキュリティが高いことが挙げられ、コスト面やセキュリティ面で不安を抱えている国内中堅企業の潜在需要を顕在化させ、安定収益となるストックビジネスの更なる強化を図ります。

*3 オフショア開発：システム開発・運用管理等を海外の事業者や海外子会社に委託すること。



IP13の見直し計画の2012/5公表計画

当社グループは2011年4月に経営統合し、翌5月に最初の3ヵ年計画として「Innovation Plan 2013 (IP13)」を公表しました。

初年度の2011年度は、営業利益が過去最高益となりましたが、一方でこの年は、東日本大震災や地上デジタル放送への完全移行など、IP13計画の前提となる市場環境に構造的な変化が生じました。

このため昨年5月に2年目以降の計画を修正しました。その内容とは、最優先課題である①財務体質の改善を1年前倒しで達成すること、②2013年度以降を再び増益基調とすること、でした。

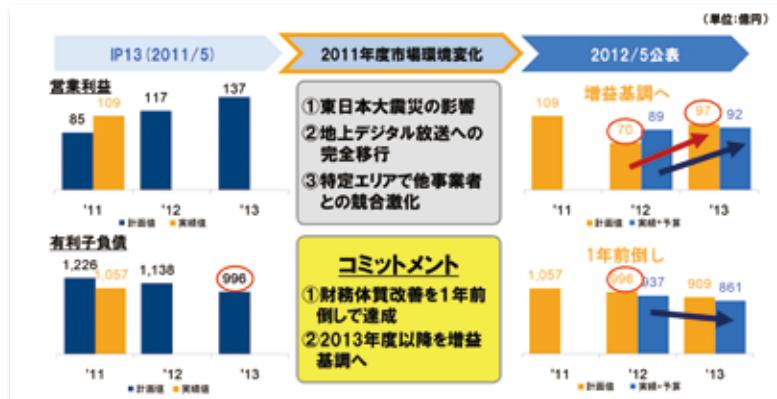
これに対し2012年度は、財務改善が進み、有利子負債残高は937億円と、上述の①からさらに進めて1年前倒しを達成しました。今期もさらに推し進め、2013年度末には861億円まで削減できる見込みです。

また、2012年度の営業利益は、89億円と2012年5月公表の目標値70億円を19億円上回りました。2013年度については、上述の②の通り、92億円と増益に転じる予想です。

2012/5公表計画の着地見込み

昨年5月に公表した計画の着地見込みについては、以下の表の通り、利益面・財務面双方におけるほぼ全ての項目において計画を達成する見通しです。

グループの今後の成長に向け、2013年度に予定する重点施策を着実に実施し、3ヵ年計画の最終年度を仕上げてまいります。



(単位：億円)

	IP13期間累計		
	2012/5公表	予想	2012/5公表対比
売上高	5,659	5,520	△139
営業利益	276	290	+14
経常利益	240	263	+23
当期純利益	80	93	+13
FCF	471	473	+2

※ FCF：フリーキャッシュフロー

(単位：億円)

	2013年度末		
	2012/5公表	予想	2012/5公表対比
有利子負債	909	861	△47
自己資本比率	16.7%	20.0%	+3.4%
ROA	1.6%	2.0%	+0.4%

(注) 表示単位未満四捨五入

株主優待制度について

当社では、株主の皆様への日頃の感謝をこめて年に2回株主優待を実施しております。

3月31日現在及び9月30日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上ご所有の株主様を対象に、ご所有株数に応じて下記の商品からお選びいただけます。

2013年3月31日現在の対象となる株主様に対しては、ご案内状を別途送付させていただいております(6月27日発送)。ご案内状に同封の申込書(はがき)にてご希望の商品をご選択いただけます。詳細につきましては、ご案内状をご覧ください。

お申込受付開始	2013年7月1日
お申込期限	2013年9月30日

100~999株 1,000~4,999株 5,000株以上

A コース アクア商品
B コース QUOカード
C コース ヴォーシエル お食事券

の、いずれか1つ

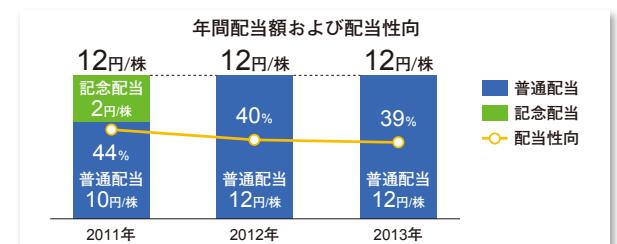
さらに、各コース共通で
グランディエールブuketーカイ、ブケ東海三島、ブケ東海御殿場共通
婚礼10%割引券*4
(割引上限10万円)
AND
ヴォーシエル
お食事20%割引券*5
(12枚つり)

*1 富士山麓で採水される当社オリジナル天然水です。注目のミネラル成分「バナジウム」をはじめ、天然ミネラル成分がバランスよく溶け込んでいます。
*2 「おいしい水の宅配便」は静岡県内のリターナブルボトル(ボトル回収型)サービス。「うるのん」は2013年5月よりブランドリニューアルされた、全国向けのワンウェイボトル(ボトル使い切り型)サービス。合わせて10万件超のお客様にご愛飲いただいている飲料水の宅配サービスです。既にご契約いただいている方、あるいは、新たにご契約し継続利用していただける方に限ります。いずれの商品も適用可能ですが、既にご契約いただいている方については、現在ご愛飲いただいている商品に限りま。なお、従前からのワンウェイ商品「朝霧のしずくプレミアム」も対象とさせていただきます。
*3 金額は、全国向けサービス「うるのん」における「富士の天然水」の価格をもとに試算しています。
*4 当社グループ結婚式場(グランディエールブuketーカイ、ブケ東海三島、ブケ東海御殿場)共通でご利用いただける婚礼10%割引券です。
*5 当社グループがJR静岡駅前葵タワー最上階で運営しておりますスカイレストラン「ヴォーシエル」(フレンチ)でご利用いただけるお食事券またはお食事20%割引券です。

配当について

当社は、「安定的かつ継続的配当」を基本方針としております。

この方針に基づき、2012年度の普通配当による1株当たり年間12円(中間6円、期末6円)を継続し、2013年度も1株当たり年間12円(中間6円、期末6円)とさせていただきます。



連結貸借対照表

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	2011年度	2012年度
		2012年3月31日現在	2013年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産		41,093	40,351
固定資産		142,470	137,147
有形固定資産		110,207	106,602
無形固定資産		17,266	14,906
投資その他の資産		14,995	15,638
繰延資産		171	143
資産合計		183,735	177,642
(負債の部)			
流動負債		85,179	82,563
固定負債		71,374	61,068
負債合計	POINT 1	156,553	143,631
(純資産の部)			
株主資本		26,424	32,096
その他の包括利益累計額		△ 149	1,006
新株予約権		327	324
少数株主持分		578	584
純資産合計	POINT 2	27,181	34,011
負債純資産合計		183,735	177,642

ポイント解説

POINT 1

有利子負債が前期比120億円削減
有利子負債が937億円(前期末比120億円削減)となり、1,000億円未満の水準まで改善しました。経営統合前の1,240億円と比べて300億円以上の削減となり、着実に改善が進んでいます。

POINT 2

自己資本比率は前期比4.3%改善
資産の圧縮が進んだ一方で、昨年末の自己株式処分によって自己資本が増加し、自己資本比率は18.6%(前期末比4.3%増加)となりました。経営統合前の7.7%と比べて2.4倍に向上し、当初のIP13計画における2013年度水準17.5%を1年前倒しで達成したことになります。

連結損益計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	2011年度	2012年度
		自 2011年4月 1日 至 2012年3月31日	自 2012年4月 1日 至 2013年3月31日
売上高	POINT 3	181,931	181,684
売上原価		112,393	112,875
売上総利益		69,537	68,809
販売費及び一般管理費		58,614	59,874
営業利益	POINT 4	10,923	8,934
営業外収益		1,095	983
営業外費用		2,200	1,852
経常利益		9,818	8,065
特別利益		270	59
特別損失		2,626	1,954
税金等調整前当期純利益		7,463	6,170
法人税等		4,695	3,073
少数株主損益調整前当期純利益		2,767	3,096
少数株主利益		52	11
当期純利益	POINT 5	2,715	3,085

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	2011年度	2012年度
		自 2011年4月 1日 至 2012年3月31日	自 2012年4月 1日 至 2013年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		28,584	25,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	POINT 6	△ 10,037	△ 9,983
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 24,255	△ 14,051
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 0	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 5,708	1,684
現金及び現金同等物の期首残高		8,141	2,432
現金及び現金同等物の期末残高		2,432	4,116

ポイント解説

POINT 3

売上高は前年水準を維持
売上高は、熊谷CATVの売却(売上高7億円)や、プライダグル事業の一部(ブケ東海沿津)の整理(同7億円)等による減収要因が14億円ありましたが、前期の水準を維持し、1,817億円となりました。

POINT 4

営業利益は市場環境対応費用の増加により減益
2012年度は当初、LPガス事業とCATV事業で市場環境対応の費用を見込み、営業利益を前期の109億円から、39億円減の70億円と予想しました。しかし実績は当初予想と比べて減益幅は19億円縮小しました。

POINT 5

当期純利益は2期連続の増益
当期純利益は、有利子負債削減による支払利息の減少や、固定資産除却損の減少等特別損益の改善、減損認容による税負担の減少等が寄与して31億円となり、2期連続の増益となりました。

POINT 6

バランスのとれたキャッシュ・フロー
情報通信・アクア等の成長分野を中心とした114億円の投資の原資として、営業CF(257億円)と自己株式処分による資金(35億円)を活用しました。フリーキャッシュフローによる有利子負債削減も着実に進捗しました。

会社概要／グループ会社紹介

▶ 会社の概要 (2013年3月31日現在)

会社名	株式会社 TOKAIホールディングス
設立	2011年4月1日
資本金	140億円
従業員	連結 3,911名
事業内容	エネルギー事業、情報通信事業等を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務
証券コード	3167
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

▶ 役員 (2013年6月27日現在)

取締役	
代表取締役社長 (CEO)	嶋田 勝彦
代表取締役専務執行役員	真室 孝教
取締役常務執行役員	溝口 英嗣
取締役常務執行役員	鈴木 光速
取締役常務執行役員	高田 稚彦
取締役 (非常勤)	高橋 信吾
取締役 (非常勤)	福田 安広
取締役 (非常勤)	村松 邦美
取締役 (社外)	小林 憲一
取締役 (社外)	曾根 正弘

監査役	
常勤監査役	望月 廣
監査役 (社外)	瀬下 明
監査役 (社外)	立石 健二
監査役 (社外)	雨 貝 二 郎

株主様アンケートのお願い

今後のIR活動の参考にさせていただきたく、アンケートにご協力のほどお願い申し上げます。おひとり様一通のご回答とさせていただきます。

2013年8月末までに同封の回答用ハガキに質問へのご回答をご記入いただき、ポストへご投函ください (切手は不要です)。

なお、本アンケートは当社ディスクロージャーの充実以外の目的に利用することはありません。

また、**ご回答いただいた方**には、下記の粗品をご用意しております。回答用ハガキにて、どちらか一方をお選びください。

- オリジナルQUOカード (500円分)**
 QUOカードを希望された方の中から抽選で1,000名様にプレゼント (QUOカードの当選者の発表は、9～10月の発送をもって代えさせていただきます。)
- TLCポイント 1,000ポイント (1,000円相当)**
 TLCポイントを希望された方には、もれなくプレゼント (TLCポイントのプレゼントは、9～10月を予定しています。事前に案内状を発送いたします。)

▶ TOKAIグループ

株式会社TOKAIホールディングス

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

株式会社TOKAI

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

株式会社TOKAIコミュニケーションズ

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

東海ガス株式会社

静岡県焼津市塩津74-3

株式会社TOKAIケーブルネットワーク

静岡県沼津市寿町8-28

株式会社いちほらコミュニティー・ネットワーク・テレビ

千葉県市原市五井中央東2-23-18

厚木伊勢原ケーブルネットワーク株式会社

神奈川県厚木市岡田3050

株式会社イースト・コミュニケーションズ

千葉県千葉市緑区あすみが丘1-20-1

エルシーバイ株式会社

長野県諏訪市大字四賀821

株式会社倉敷ケーブルテレビ

岡山県倉敷市中島2661-1

株式会社トコちゃんねる静岡

静岡県静岡市清水区中之郷2-1-5

東海造船運輸株式会社

静岡県焼津市小川3899-4

株式会社ブケ東海三島

静岡県三島市梅名393-1

株式会社ブケ東海御殿場

静岡県御殿場市東田中1505-3

トーカシティサービス株式会社

静岡県静岡市葵区紺屋町17-1

TOKAIライフプラス株式会社

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

拓開 (上海) 商貿有限公司

上海市浦東新区世紀大道100号 上海環球金融中心17階T-40号室

株主の状況 (2013年3月31日現在)

▶ 株式の状況

会社が発行する株式の総数	300,000,000 株
発行済株式総数	155,199,977 株
1単元の株式数	100 株
株主数	26,452 名

▶ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	7,559,820	4.87%
鈴与商事株式会社	5,374,700	3.46%
東京海上日動火災保険株式会社	4,986,887	3.21%
株式会社静岡銀行	4,065,527	2.62%
三井住友信託銀行株式会社	3,816,000	2.46%
株式会社みずほ銀行	3,588,577	2.31%
TOKAIグループ従業員持株会	3,542,717	2.28%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,827,400	1.82%
アストモスエネルギー株式会社	2,724,848	1.76%
明治安田生命保険相互会社	2,599,389	1.67%

※この他に当社は自己株式36,175,532株を保有しております。

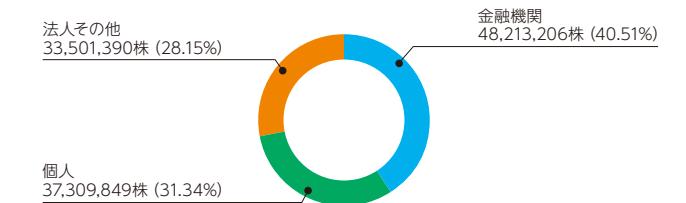
▶ 株価の推移



※株価の推移は週足です。

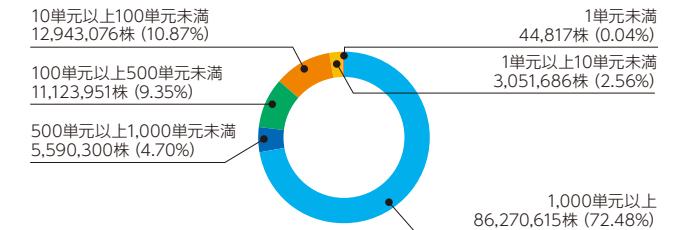
▶ 株式分布状況

所有者別分布状況



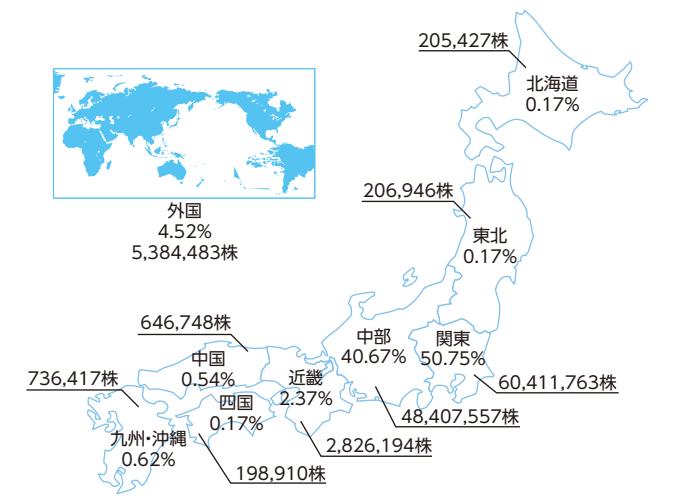
※自己株式36,175,532株は、所有者別分布状況から除かれております。

所有株式数別分布状況



※自己株式36,175,532株は、所有株式数別分布状況から除かれております。

▶ 地域別株式分布状況



※自己株式36,175,532株は、地域別分布状況から除かれております。